

令和7年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区:作手地区 開催日時:令和7年7月9日(水) 午後7時00分 ~ 午後8時50分 開催場所:つくで交流館 担当議員:6名(丸山隆弘、佐宗龍俊、滝川健司、鈴木長良、山田辰也、齊藤竜也) 参加人数:男性14名 女性7名 計21名	報告者
	山田辰也

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの ※対応 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③その他(備考に内容記入)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
1	健康保険の値上がりについて、負担がどんどん増えていくのではないかと思うが、その対応や見通しは。	保険料の値上げは、令和12年を見越して統一していくので、青天井で上がり続けることはない。	○	①	鈴木長良	国民健康保険
2	白馬村への行政視察について、白馬村では外国人の増加が大きな問題になっていると聞くが、外国人への対応と、今後さらに大きな災害が発生した場合の対応を、白馬村議会はどのように考えているのか。	今回は外国人問題の視察では無く、平成26年の地震の際の議会对応の視察であったので外国人への対応は伺っていない。今後については、特にBCPや災害時対応計画を策定する予定は無いが、地震よりも風水害による自然災害が心配なので、計画の策定も必要性は感じている、とのことであった。	●	①	佐宗龍俊	委員会行政視察
3	作手地区学校運営協議会では度々義務教育学校の話が出ています。厚生文教委員会の視察の様子と、新都市としてはどう対応を考えているか。	今回は教育長に義務教育学校の候補地を選定してもらい、亀岡市に決まった。4年3年2年義務教育を行っていた。現在校舎を新築中であった。自治会の連合会からの要請から義務教育学校を進めた。新都市教育委員会としては、望ましい教育環境を整えるために色々な仕組みを作ろうと進めており、義務教育学校も前向きに考えている。	●	①	丸山隆弘	委員会行政視察
4	学校の統廃合などで避難所の数が減ると、避難所までの距離が遠くなって困る方が出てくるなど、行政サービスの低下が感じられる。「我慢しろ」ではなく、住民が納得する提案を出して欲しい。	・避難所の問題については、これまでも議会から行政に、地域の一時避難所等の検討決定を、担当部署が地域に入っ て指導すべき、と提言している。行政サービスの低下についても感じていることであるので、この機会に再度プッシュしていく。(佐宗龍俊) ・多くの行政サービスが滞っているというご指摘であると思う。議会としては各常任委員会で検討し、行政に提言していく。(齊藤竜也)	○	①	佐宗龍俊 齊藤竜也	避難所 行政サービス
5	民生委員の選出に苦勞している。区長に頼り過ぎではないか。もう少し選びやすい方法を考えてもらえないか。	どこの行政区でも苦勞されていると認識しているが、今どのような対応をすべきかを回答できる状況ではないので、持ち帰って確認し、回答させていただく。	○	①	鈴木長良	民生委員

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
6	新城東高校跡地利用について。	市長が、医療、福祉、健康に寄与する用途で使う方針を掲げた。現在基本構想を練っている。市民病院の候補地とする意見もあるが、病院だけでは面積が広すぎるため、残った土地をどう活用するかが進まない状況。民間の活力も使って構想を練っているのが現状である。	○	①	滝川健司	新城東高校跡地 利用
7	若者議会について、機能しているのか疑問である。	若者議会も10年を迎えたが、どのように機能しているのか、どのように市民から認知されているのか、まだまだわからない点も沢山あるのかもしれないが、新城市の若者議会は非常に注目を浴び、沢山の視察を受け入れている。参加メンバーの成長を垣間見ることができる。もっと大勢の方に興味を持ってもらえるように、誇れるものにしていけるようにしたい。	○	①	鈴木長良	若者議会
8	若者議会議会への苦言として、、高校生が若者議会に出席する事がキャプテン不在になり、クラブ活動となり練習がおろそかになる。意欲的な事は認めるが時間を取られる事が説明されていない為支障が出る。	苦言についてはしっかりと承ったので、議会としての対応を進めていく。	○	①	丸山隆弘	若者議会
9	若者議会は10周年にあたるが、成果は出ているのか。	・一つ一つの施策の成果は大きくないかもしれないが、若者が市政に参加し、自分の意見を市政に反映させることを、市は重要視している。(佐宗龍俊) ・具体的な施策で言えば、プレコンセプションケアの取組については、若者議会の提案で市の事業が立ち上がっている。若者議会の成果を市民の皆さんに理解していただけるよう、アナウンスもしていきたい。(鈴木長良)	○	①	佐宗龍俊 鈴木長良	若者議会
10	地域の公民館などを一時避難所にするにしても耐震面で不安が有る。公民館などの耐震診断を市がやって欲しい。	地域の一時避難所を検討する時に行政にも入ってもらい、耐震の問題なども直接相談して欲しい。	○	①	佐宗龍俊	避難所
11	作手ビレッジの予算が国から1,000万あるのにも関わらず市は貸してくれなかった。どう考えるのか。議員個人の本音を聞きたい。	・この会は議員個人の意見を言う場ではなく、議会としての回答をすべき場であることをご理解いただきたい。(佐宗龍俊) ・私は当事者であり、「それはないだろう」と思ったが、先ほどの副議長の言うこともみなさんも理解していただきたい。(齊藤竜也) ・この会の最大の目的は、市民のみなさんの意見を伺い、令和8年度の予算要望に反映させることであるので、本音の話ができると良いと考える。(丸山隆弘)	○	①	佐宗龍俊 齊藤竜也 丸山隆弘	作手ビレッジ

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			備 考 (キーワード)
			分類	番号	担当	
12	地域自治区制度については、制度が悪いのではなく、制度を上手に使えていない。行政のシステムやコミュニケーションをとる仕組みのところを、議会がつかないだり、場を設定してもらえないか。	・地域自治区制度を上手に使っていくためにどうしていくかを、議員も真剣に考えて取り組んでいかなければならないと感じる。大所帯である千郷地区だが、なかなか参加できていないので、今後は一緒になって地域の中で取り組んでいきたい。」(鈴木長良) ・東郷地区では、部会に分かれて活動している。なかなか顔を出すことは無いが、活発な活動をしてうまくいっていると思う。ただし、行政と自治区の仕組みがうまくマッチングしていないのではないかと。予算消化型になってしまっていないかと感じる。」(滝川健司) ・「私は自治区制度には当初から反対であった。二重行政ではないか、機能していないのではないかと、千郷地域で感じている。見直す時期だと思う。」(山田辰也) ・「鳳来地区はいくつかの自治区があるが、まとまった自治区もある。また、自治区としてやるべき事業なのか首をかしげながらも自治区を活用している現状もある。今後、議会としても検討していきたい。」(丸山隆弘)	○	①	鈴木長良 滝川健司 山田辰也 丸山隆弘	地域自治区
13	給食センターが完成したが各議員の考えは。	・賛成した。各学校で自校式を続けるには、それぞれ改修する時期が来る。その時には今のウェット方式のドライ運用から、ドライ方式へ大改修しなければならず、費用的にセンター方式の方が高額になることはない。また調理員不足の問題が解決できると考えたから。(佐宗龍俊) ・賛成した。佐宗議員とほぼ同じだが、加えて、こどもの数が減って学校の統廃合が進むと、せっかく自校式の給食調理室を改修しても、それが使われなくなることも考えると、センター方式の方が良いと判断した。(齊藤竜也) ・反対した。学校の統廃合の後で、親子方式でやれば良いと考えた。予算がかかり過ぎ。(山田辰也) ・賛成した。佐宗、齊藤と同じだが、加えて、各学校の給食調理場の老朽化が進んでおり、一つ一つを改修することと、センター方式にすることを比較し、今後センターとして取り廻していくことが得策だと判断した。(鈴木長良) ・賛成した。一番の理由は調理員が確保できないこと。小規模校だと一人で調理し休むこともできない。他に施設の老朽化、アレルギー対応の問題等、総合的に判断した。当初親子方式だったのが、途中でセンター方式に変わったが、進め方がちぐはぐだった。(滝川健司) ・「最初は反対した。当初の新城地区と鳳来地区の親子方式案を望んでいたが、工事が進む中で賛成に回った。」(丸山隆弘)	○	①	全員	学校給食センター